

平成25年度全国学力・学習状況調査に係る 厚木市立小・中学校の調査結果について

市立小学校6年生及び中学校3年生を対象に、平成25年4月24日に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。教育委員会では、今回の分析結果を踏まえ教育施策の成果や課題等を把握・検証し、今後の教育施策に反映するとともに、市立各小・中学校においては、校長のリーダーシップのもと、各教員が指導内容・方法の改善を進めてまいります。

1 調査の概要について

(1) 調査の対象学年 小学校第6学年及び中学校第3学年

(2) 調査の内容

ア 教科に関する調査（国語、算数・数学）

・主として「知識」に関する問題 国語A、算数・数学A

・主として「活用」に関する問題 国語B、算数・数学B

イ 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査

・学校に対する調査

(3) 調査日 平成25年4月24日（水）

(4) 4月24日に調査に参加した児童・生徒数

【小学校調査児童数】

国語A	国語B	算数A	算数B	児童質問紙
2,111人	2,109人	2,111人	2,109人	2,109人

【中学校調査 生徒数】

国語A	国語B	数学A	数学B	生徒質問紙
1,938人	1,939人	1,946人	1,944人	1,943人

(参考) 全国・県・市の公立学校の参加校数

	小学校	中学校
全 国	20,448校	9,878校
神奈川県	858校	416校
厚木市	23校	13校

2 教科に関する調査結果について

【平均正答率】

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
全国	62.7%	49.4%	77.2%	58.4%	76.4%	67.4%	63.7%	41.5%
神奈川県	61.5%	49.7%	76.5%	58.7%	76.3%	68.9%	63.8%	41.9%
厚木市	59.6%	46.8%	73.3%	54.7%	74.8%	66.9%	62.8%	39.5%

(1) 小学校国語の主な結果について

- ・話合いの中で、助言の際、相手の立場や状況を感じ取って対応していることを取り上げ、説明している文を選択することは7割以上の児童ができています。
- ・目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用したり複数の内容を関係付けたりしながら、自分の考えを書くことについて課題があります。

(2) 小学校算数の主な結果について

- ・繰り下がりのある減法や、同分母の分数の加法の計算は8割以上の児童ができています。
- ・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解することに課題があります。

(3) 中学校国語の主な結果について

- ・取材の仕方の説明として適切なものを選択することは8割以上の生徒ができています。
- ・説明的な文章について、文章の構成や表現の特徴に注意して読むことに課題があります。

(4) 中学校数学の主な結果について

- ・具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることについては、8割以上の生徒ができています。
- ・一定の事柄が成り立つ理由や予想した事柄を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。

3 児童・生徒質問紙調査の結果について

(1) 小学校児童の傾向について

ア 「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が高かったもの

- ・家で学校の宿題をしている。 96.3%
- ・学校で友達に会うのは楽しいと思っている。 95.7%
- ・朝食を毎日食べている。 95.5%
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 95.1%
- ・ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。 94.2%

イ 「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が低かったもの

- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強している。 21.3%
- ・ふだん(月～金曜日)、1日当たり2時間以上TVゲームをしている。 32.9%
- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために学校図書館や図書室、地域の図書館等へ、月に1回以上は行く。 36.1%
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。 42.7%
- ・家で学校の授業の予習をしている。 45.8%

(2) 中学校生徒の傾向について

ア 「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が高かったもの

- ・学校で友達に会うのは楽しいと思う。 93.3%
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている。 93.2%
- ・朝食を毎日食べている。 92.9%
- ・ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。 92.9%
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 92.2%

イ 「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が低かったもの

- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために学校図書館や図書室、地域の図書館等へ、月に1回以上は行く。 19.1%
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。 26.2%
- ・ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っている。 27.9%
- ・ふだん(月～金曜日)、1日当たり2時間以上TVゲームをしている。 30.8%
- ・家や図書館で、ふだん(月～金曜日)、1日当たり読書をする時間【30分以上】 32.5%

(3) 今後の課題等

- ・各学校は、児童・生徒の学習意欲が高まり、「勉強は大切だ」、「将来に役立つ」と思えるような活動を引き続き取り入れるとともに、どのような課題であっても粘り強く取り組み、解決のためのいろいろな方法を考えたり表現したりする学習活動を充実させることが求められています。
- ・各学校は、児童・生徒が自ら進んで日常的に家庭での学習に取り組み、家庭学習の継続的な実施や習慣が身に付くような活動を引き続き取り入れるとともに、それぞれの家庭の実情に合わせて食事や起床・就寝などの時間を整え、基本的な生活のリズムを身に付けられるように保護者との連携・協力を更に積極的に図ることが重要です。
- ・各学校は、児童・生徒の自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、きまりや約束を守る大切さを実感させながら規範意識を高める指導を充実させることが大切です。